

| 新 | 旧 | 備考 |
|--|---|----|
| <p>293.37 ホルモン、プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエン（天然のもの及びこれと同一の構造を有する合成のものに限る。）並びにこれらの誘導体及び構造類似物（主としてホルモンとして使用するもので、変性ポリペプチドを含む。） <u>- ポリペプチドホルモン、たんぱく質ホルモン及び糖たんぱく質ホルモン並びにこれらの誘導体及び構造類似物</u> <u>2937.11 - ソマトロビン並びにその誘導体及び構造類似物</u> <u>2937.12 - インスリン及びその塩</u> <u>2937.19 - その他のもの</u> <u>- ステロイドホルモン並びにその誘導体及び構造類似物</u> <u>2937.21 - コルチゾン、ヒドロコルチゾン、プレドニゾン（デヒドロコルチゾン）及びプレドニゾロン（デヒドロヒドロコルチゾン）</u> <u>2937.22 - コルチコステロイドホルモンのハロゲン化誘導体</u> <u>2937.23 - エストロゲン及びプログesterogen</u> <u>2937.29 - その他のもの</u> <u>- カテコールアミンホルモン並びにその誘導体及び構造類似物</u> <u>2937.31 - エピネフリン</u> <u>2937.39 - その他のもの</u> <u>2937.40 - アミノ酸誘導体</u> <u>2937.50 - プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエン並びにこれらの誘導体及び構造類似物</u> <u>2937.90 - その他のもの</u> <u>この項には、次の物品を含む。</u> <u>() 天然のホルモン：人又は動物の生きている組織で生成される活性物質で、直接特定の器官に作用したり、二次的若しくは三次的なホルモン系の合成又は分泌をコントロールすることによって、ごく少量で特定の器官の機能を抑制又は刺激することができる。ホルモンの基本的で明確な特性のひとつは、ホルモンがある反応を活性化するため、立体特異的な分子受容体に結合することである。これらの物質の分泌は、通常、内分泌腺よりなされ、交感神経系又は副交感神経系に支配される。ホルモンはまた、内・外分泌腺又は他の細胞組織中においても生成され、血液、リンパ液又は他の体液によつて運ばれる。血液による運搬は、必ずしもホルモンの反応に必要ではなく、間質液へのホルモンの放出後、隣接細胞に存在する受容体に結合することによつて反応が起る場合（傍分泌制御）やそのホルモンを放出した細胞に存在する受容体に結合して起る場合（自己分泌制御）がある。</u> </p> | <p>293.37 ホルモン（天然のもの及びこれと同一の構造を有する合成のものに限る。）及びその誘導体で主としてホルモンとして使用するもの並びにその他のステロイドで主としてホルモンとして使用するもの <u>2937.10 - 脳下垂体前葉ホルモンその他これに類するホルモン及びこれらの誘導体</u> <u>- 副腎皮質ホルモン及びその誘導体</u> <u>2937.21 - コルチゾン、ヒドロコルチゾン、プレドニゾン（デヒドロコルチゾン）及びプレドニゾロン（デヒドロヒドロコルチゾン）</u> <u>2937.22 - 副腎皮質ホルモンのハロゲン化誘導体</u> <u>2937.29 - その他のもの</u> <u>- その他のホルモン及びその誘導体並びにその他のステロイドで主としてホルモンとして使用するもの</u> <u>2937.91 - インスリン及びその塩</u> <u>2937.92 - エストロゲン及びプログesterogen</u> <u>2937.99 - その他のもの</u> <p>天然ホルモンは、ごく少量で特定の器官の機能を抑制又は刺激する活性物質である。通常、内分泌腺による分泌は交感系及び副交感系により支配される。ホルモンは内分泌腺、開口腺及び他の細胞組織中でつくられ、人又は動物体内的血液、リンパ液、その他の液体により運ばれる。この項には、天然ホルモンと同一の構造をもつ合成ホルモン（バイオテクノロジーにより生産されたものを含む。）を含む。</p> <p>天然又は合成のホルモンの誘導体（ハロゲン化誘導体、環式アセタール、塩、エステル及びエステルの塩等）も、また、主としてホルモンとして使用されるものに限り、この項に含む。ただし、当該誘導体がステロイドである場合には、その基本であるゴナン構造に変化があつてはならない。すなわち、環は必ずしも完全に飽和されている必要はないが、環の収縮又は炭素原子以外の原子（ヘテロ原子）による置換が行われていてはならない。</p> </p> | |

| 新 | 旧 | 備考 |
|--|--|----|
| <p>(前葉より)</p> <p>29.37 () プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエンで天然のもの：身体より分泌され、局所ホルモンのように作用する。プロスタグランジンはホルモン又はホルモン様物質の一一種で、それ自身が特定の細胞受容体に結合することによって作用する（又は局所の細胞環境において作用する）組織中で生成され、多くの組織で細胞活動の調節剤として作用する。これら3種類の関連する物質のグループ（アラキドン酸の誘導体）は、「ホルモン様作用」を有すると言われている。</p> <p>() ホルモン、プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエンで合成によつて得られたもの（バイオテクノロジーによつて得られたものを含む。）：天然の物質と同一の化学構造を有するものである。</p> <p>() ホルモン、プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエンの誘導体で天然のもの又は合成によつて得られたもの：塩、ハロゲン化誘導体、環式アセタール、エステル等（誘導体の混合物（例えば、ハロゲン化誘導体のエステル）を含み、主としてホルモンとして使用するものに限る。）</p> <p>() ホルモン、プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエンの構造類似物：「構造類似物」とは、母体化合物と近似な構造関係を持つが、誘導体とは認められない化合物である。これには、天然の化合物に構造的に類似するが、構造内の一原子以上を他の原子で置き換えた化合物を含む。</p> <p>(a) ポリペプチドホルモンの構造類似物：天然のポリペプチド鎖中の特定のアミノ酸を付加、脱離、置換又は交換して形成される。ソマトレム（成長ホルモンであるソマトロピンの構造類似物）（INN）は天然のソマトロピン分子の末端にアミノ酸を付加して得られる。オルニプレッシン（ornipressin）（INN）（天然のアルギプレッシン（argipressin）（INN）及びライプレッシン（lypressin）（INN）の構造類似物）はアルギプレッシン又はライプレッシン分子中の中間部分のアミノ酸を置換することによつて得られる。合成の性腺刺激ホルモン放出ホルモン（ゴナドレリンの構造類似物）であるブセレリン（buserelin）（INN）、ナファレリン（nafarelin）（INN）、フェルチレリン（fertirelin）（INN）、ロイプロレリン（leuprorelin）（INN）及びルトレリン（lutrelin）（INN）は、天然のゴナドレリン（gonadorelin）のポリペプチド鎖の特定のアミノ酸を置換することによつて得られる。コルチコトロピン（INN）の構造類似物であるギラクチド（giractide）（INN）は、天然のコルチコトロピンと初めの18個のアミノ酸が同一であるが、第一</p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p> | <p>(前葉より)</p> <p>29.37 この項にはさらに主としてホルモンとし使用されることを条件として、上記に掲げた基本構造を有する他のステロイドを含む。</p> <p>この項には、ホルモンの天然混合物、ホルモン誘導体の天然混合物又はステロイドで主としてホルモンとして使用するものの天然混合物（例えば、副腎皮質ホルモンの天然混合部）を含むが、これらのものを人為的に混合したもの又は調製品を含まない。この項の物品を化学構造に従い整理した表を以下に示すが、この表は完全なものではない。</p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p> | |

| | 新 | 旧 | 備 考 |
|-------|--|----------------------------|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>番目のアミノ酸が置換されている。サララシン(saralasin)(INN)(アンギオテンシン分子中、アミノ酸が3つ異なるもの。)は、アンギオテンシンに拮抗的作用を示すが、その構造類似物と考えるべきである(サララシンは降圧剤であり、アンギオテンシンは昇圧剤である。)。</p> <p>(b) ステロイドホルモンの構造類似物：ゴナン構造を有していないなくてはならないが、環の短縮若しくは拡張又は環の原子が他の原子(ヘテロ原子)によつて置換されていてもよい。ドモプレドネート(domoprednate)(INN)及びオキサンドロロン(oxandrolone)はこの種の構造類似物の代表的な例である。この種の構造類似物及び誘導体のグループ(上記ゴナン構造を有するものに限る。)は、ホルモン阻害剤及びホルモン拮抗剤(抗ホルモン)として使用される物質を多数含む(例えば、サイプロテロン(cyproterone)(INN)(抗アンドロゲン)、ダナゾール(danazol)(INN)(抗性腺刺激ホルモン)、エポスタン(epostane)(INN)(プロゲステロンの生成を阻害する。))。</p> <p>(c) プロスタグラニン、トロンボキサン及びロイコトリエンの構造類似物：鎖状構造中の原子が置換され又は環が形成若しくは脱離されていてよい。チルスプロスト(tilsuprost)(INN)(プロスタグラニンの構造類似物)においては、酸素及び炭素原子が窒素及び硫黄原子で置換され、環が1つ閉じている。</p> <p>() ホルモンの天然の混合物若しくはその誘導体又はホルモン作用を持つと認められるステロイドの天然の混合物(例えば、コルチコステロイドホルモンの天然の混合物又は結合エストロゲンの天然の混合物)。ただし、人為的な混合物又は調製品はこの項に含まれない(通常、30.03又は30.04)。</p> <p>ホルモン放出因子(ホルモン刺激因子)、ホルモン阻害剤及びホルモン拮抗剤(抗ホルモン)もこの項に含まれる(この類の注8参照)。この項には、また、ホルモン(天然のもの又はこれと同一の構造を有する合成のもの)を母体化合物とし、かつ、ホルモンと同様の作用機序で作用する物品に限り、ホルモンの誘導体及び構造類似物を含む。</p> <p>この項の物品をその化学構造に従つて整理した表を以下に示すが、この表は例示であつて限定的なものではない。</p> <p>(次葉へ)</p> | <p>(前葉より)</p> <p>29.37</p> | |

| | 新 | 旧 | 備 考 |
|-------|---|--|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p><u>29.37 項に分類される物品の一覧表()</u></p> <p>(A) <u>ポリペプチドホルモン、たんぱく質ホルモン及び糖たんぱく質ホルモン並びにこれらの誘導体及び構造類似物</u> この項には、次の物品を含む。</p> <p>(1) <u>ソマトロピン並びにその誘導体及び構造類似物：ソマトロピン（成長ホルモン、G H、S T H（ソマトロピンホルモン））は、水溶性のたんぱく質で、組織の成長を促進し、また、他の相のたんぱく質代謝作用の調節に関与する。脳下垂体前葉のソマトロピン細胞から分泌され、その分泌は、放出因子（成長ホルモン放出ホルモン）及び阻害因子（ソマトスタチン）によって調節される。ヒト成長ホルモン（h G H）は、191 のアミノ酸残基よりなる1本のポリペプチド鎖で、ほとんど独占的に組み替えDNA技術によって製造される。このグループには、ソマトレム（somatrem）（I N N）（メチオニルh G H）、アセチル化h G H、デサミド（desamido）h G H及びソメノポル（somenopor）（I N N）のような誘導体及び構造類似物を含む。</u></p> <p>(2) <u>インスリン及びその塩：インスリンは51のアミノ酸残基よりなるポリペプチドで、多くの動物のすい臓のランゲルハンス島で生成される。ヒトイ nsulin は、すい臓からの抽出、牛若しくは豚のインスリンの修飾又はバイオテクノロジーによって得られる（微生物又は酵母による組み替えヒトイ nsulin の製造を含む）。インスリンは、循環しているグルコース及びその他の栄養素の細胞への取り込み及びこれらをグリコーゲン及び脂肪として貯蔵する場合の因子である。純粋なインスリンは、白色、非吸湿性の不定形の粉末又は輝きのある結晶で、水に可溶である。糖尿病治療薬として使用される。インスリンの塩にはインスリン塩酸塩を含む。</u></p> <p>(3) <u>コルチコトロピン（I N N）（A C T H (adrenocorticotropic hormone)、副腎皮質刺激ホルモン）：水溶性のポリペプチドで、副腎皮質ステロイドの生成を促進する。ギラクチド（giractide）（I N N）はコルチコトロピンの構造類似物である。</u></p> <p>(4) <u>黄体刺激ホルモン（L T H、ガラクチン、ガラクトゲンホルモン、ルテオトロフィン、マンモトロフィン、プロラクチン）：結晶性のポリペプチドで乳汁分泌を促し、黄体の活動に影響を与える。</u></p> <p>() <u>世界保健機関（W H O）の公表したInternational Nonproprietary Names又はInternational Nonproprietary Names（Modified）の品名がある場合には、それを最初に掲げ、それぞれ（I N N）又は（I N N M）が記されている。</u></p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p> | <p>(前葉より)</p> <p><u>29.37 項に分類される物品の一覧表(*)</u></p> <p>() <u>フェノール誘導体</u></p> <p>(A) <u>甲状腺ホルモン</u></p> <p>(1) <u>レボチロキシン（I N N M）及びD L - チロキシン（2 - アミノ - 3 (4 - (4 - ヒドロキシ - 3 , 5 - ジヨードフェノキシ) - 3 , 5 - ジヨードフェニル) - プロピオン酸又は3 , 5 , 3' , 5' - テトラヨードチロニン）：チロキシンは、甲状腺から抽出されるか又は合成によつて得られる芳香族アミノ酸の一一種で、白色又は淡黄色の結晶であり、水及び通常の溶媒に不溶である。基礎代謝率及び酸素消費量を増加し、交感系に作用し、たんぱく質及び脂肪の作用を制御し、生物体のよう素欠乏を補う。甲状腺腫及びレチン病の治療に使用する。L - 異性体は最も活性が強い。そのナトリウム塩は、白色の粉末で、水にわずかに溶け、同様の作用を有する。</u></p> <p>(2) <u>リオチロニン（I N N）及びD L - 3 , 5 , 3' - トリヨードチロニン（2 - アミノ - 3 - (4 - (4 - ヒドロキシ - 3 - ヨードフェノキシ) - 3 , 5 - ジヨ - フェニル) (プロピオン酸)：トリヨードチロニンは、甲状腺から抽出される。その生理的作用はチロキシンより大きい。</u></p> <p>(B) <u>副腎皮質ホルモン</u></p> <p><u>これらのホルモンは、副腎の髓質中に存在する。</u></p> <p>(1) <u>エピネフリン（I N N）及びラセピネフリン（I N N）((+)) - アドレナリン、1 - (3 , 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノエタノール：アドレナリンは、淡褐色又はほとんど白色の結晶性粉末で、光により変化を受けやすく、水及び有機溶媒にわずかに溶ける。馬の副腎から抽出されることもあるが、大部分は合成によつて製造される。血圧上昇性ホルモンの一一種で、交換神経系を刺激し、血球の数及び血液中の糖分を増加させる。また、強い血管収縮作用を有する。</u></p> <p>(2) <u>ノルエピネフリン（I N N）(レバラレテノール)、((-)) - ノルアドレナリン、(-) - 2 - アミノ - 1 - (3 , 4 - ジヒドロキシフェニル)エタノール：白色の結晶で水に可溶である。その生理的作用は、アドレナリンとエフェドリンとの中間である。</u></p> <p><u>(*)世界保健機関（W H O）の公表したInternational Nonproprietary Names又はInternational Nonproprietary Names（Modified）の品名がある場合には、それを最初に掲げ、それぞれ（I N N）又は（I N N M）が記されている。</u></p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p> | |

| 新 | 旧 | 備 考 |
|---|---|-----|
| <p>(前葉より)</p> <p>29.37 (5) チロトロフィン (I N N) (チロトロフィンホルモン、T S H (甲状腺刺激ホルモン)) : 糖たんぱく質で、血液に対する甲状腺の作用及びよう素の移動に関与する。成長及び分泌に影響する。</p> <p>(6) 濾胞刺激ホルモン (F S H) : 水溶性の糖たんぱく質で、生殖機能を亢進する。</p> <p>(7) 黄体形成ホルモン (L H、I C S H (間質細胞刺激ホルモン)、ルテノスチムリン) : 水溶性の糖たんぱく質で、ステロイドの分泌、排卵及び間質細胞の発生を刺激することにより、生殖機能を亢進する。</p> <p>(8) 純毛性性腺刺激ホルモン (I N N) (h C G (ヒト純毛性性腺刺激ホルモン)) : 胎盤で生成される糖たんぱく質で、妊婦の尿より抽出される。白色結晶で水溶液中では比較的不安定である。濾胞の成熟を促す。</p> <p>(9) 血清性性腺刺激ホルモン (I N N) (ウマ純毛性性腺刺激ホルモン (e C G)) : 性腺刺激作用のある糖たんぱく質で、妊娠した雌馬の胎盤及び子宮内膜で生成される。もともとは、妊馬血清性性腺刺激ホルモンと呼ばれた。</p> <p>(10) オキシトシン (I N N) (アルファ - ヒポファミン) : 水溶性のポリペプチドで、主な作用は、子宮収縮及び乳房からの乳汁射出作用である。構造類似物であるカルベトシン (carbetocin) (I N N)、デモキシトシン (demoxycytocin) (I N N) 等も含まれる。</p> <p>(11) バソプレッシン (アルギプレッシン (I N N) 及びライプレッシン (I N N) 並びにこれらの誘導体及び構造類似物) : 血圧を上昇させ、腎臓による水分の貯留を促進する作用を有するポリペプチドである。ここには、ポリペプチドの構造類似物も含む (例えば、テルリプレッシン (terlipressin) (I N N)、デスマプレッシン (desmopressin) (I N N) 等)。</p> <p>(12) カルシトニン (I N N) (T C A (チロカルシトニン)) : 血液カルシウム及び血液りん酸降下作用を持つポリペプチド。</p> <p>(13) グルカゴン (I N N) (H G F (高血糖 - グリコーゲン分解因子)) : ポリペプチドで、血中グルコース濃度を上昇する作用を持つ。</p> <p>(14) チロリベリン (T R F、T R H) : チロトロフィンの分泌を刺激するポリペプチドである。</p> <p>(次葉へ)</p> | <p>(前葉より)</p> <p>29.37 () ポリペプチド及びたんぱく質</p> <p>(A) 脳下垂体前葉ホルモン及び類似のホルモン</p> <p>(1) 生長ホルモン (G H、S T H (ソマトロピンホルモン)、ソマトロビン) : 水溶性のたんぱく質で、組織の成長を促進し、また、他の相のたんぱく質代謝作用の調節に関与する。</p> <p>(2) 副腎皮質刺激ホルモン (コルチコトロビン (I N N)) (A C T H (アドレノコルチコトロフィンホルモン)、アドレノコルチコトロフィン) : 水溶性のポリペプチドで、副腎皮質ステロイドの生成が増加するように刺激する。</p> <p>(3) 黄体ホルモン (L T H、ガラクチン、ガラクトゲンホルモン、ルテオトロフィンマントロフィン、プロラクチン) : 結晶性のポリペプチドで、乳汁分泌を高め、黄体の活動に影響を与える。</p> <p>(4) チロトロフィン (I N N) (チロトロフィンホルモン、T S H (甲状腺刺激ホルモン)) : 糖たんぱく質で、血液に対する甲状腺の作用及び甲状腺のよう素移動に関与する。</p> <p>(5) 濾胞刺激ホルモン (F S H) 水溶性の糖たんぱく質で、性機能を活発にする。</p> <p>(6) 黄体形成ホルモン (L H、I C S H (間質細胞刺激ホルモン)、ルテノスチムリン) : 水溶性の糖たんぱく質で性機能を刺激する。</p> <p>(7) 純毛膜性生殖腺刺激ホルモン (Chorionic gonadotrophin (I N N) (H C G (人純毛膜性生殖腺刺激ホルモン))) : 胎盤で生成される糖たんぱく質で妊婦の尿から抽出されるが、脳下垂体前葉中にも存在する。白色の結晶で、水溶液は比較的不安定である。濾胞の成熟を刺激する。</p> <p>(8) 血清性刺激ホルモン (serum gonadotrophin (I N N)) (P M S G (pregnant mare serum gonadotrophin)) : 生殖腺刺激作用のあるたんぱく質で、妊娠した雌馬の胎盤又は子宮内膜に生成する。</p> <p>(B) 脳下垂体後葉ホルモン</p> <p>(1) 子宮収縮ホルモン (oxytocin (I N N)) (アルファ - ヒポファミン) : 水溶性ポリペプチドで、おもな作用は子宮収縮作用である。</p> <p>(2) バソプレッシン (ベータ - ヒポファミン) : ポリペプチドで血圧上昇作用及び腎臓の保水力増加作用がある。</p> <p>(次葉へ)</p> | |

| | 新 | 旧 | 備 考 |
|-------|---|--|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>(15) ゴナドレリン (gonadorelin) (INN) (ゴナドリベリン、性腺刺激ホルモン放出ホルモン、LRF、GnRH) : このポリペプチドは、脳下垂体における濾胞刺激ホルモン及び黄体形成ホルモンの分泌を促進する。ここには、ポリペプチドの構造類似物を含む (例えば、ブセリリン (buserelin) (INN)、ゴセリリン (goserelin) (INN)、フェルチレリン (fertirelin) (INN)、セルモレリン (sermorelin) (INN) 等)。</p> <p>(16) ソマトスタチン (INN) (SS, SRIH, SRF) : このポリペプチドは脳下垂体からの成長ホルモン及びTSHの放出を阻害し、また、神経性の作用も有する。</p> <p>(17) 心房性ナトリウム利尿ホルモン (ANH, ANF) : 心房から分泌されるポリペプチドホルモンである。血液量の増加によって心房が拡張した場合に、ANHの分泌が刺激される。ANHは、塩及び水分の排泄を促進し、続いて血圧を降下させる。</p> <p>(18) エンドセリン : 血管系の内皮細胞で分泌されるポリペプチドホルモンである。エンドセリンは血流中に放出されるが、傍分泌型で局所的に作用し、血管平滑筋を収縮し、血圧を上昇する。</p> <p>(19) インヒビン及びアクチビン : 性腺組織に存在するホルモンである。 (B) ステロイドホルモン並びにその誘導体及び構造類似物</p> <p>(1) コルチコステロイドホルモン : 副腎の皮質部で分泌され、身体の代謝活動において重要な役割を果たしている。副腎皮質ホルモン又はコルチコイドとしても知られ、その生理的作用によつて、通常次の2つのグループに分けられる。 () グルココルチコイド : たんぱく質及び炭水化物の代謝を調節する。 () 鉱質コルチコイド : ナトリウム及び水分の貯留を引き起こし、カリウムの排泄を促進する。鉱質コルチコイドの性質は、腎不全及びアジソン病の治療に利用される。これらには、次のコルチコステロイドホルモン並びにその誘導体及び構造類似物を含む。 (a) コルチゾン (INN) : グルココルチコイドの一種で、たんぱく質及び炭水化物の代謝を調節し、抗炎症作用を有する。 (b) ヒドロコルチゾン (INN) (コルチゾール) : コルチゾンと同様の作用を有するグルココルチコイドである。 (c) ブレドニゾン (INN) (デヒドロコルチゾン) : グルココルチコイドで、コルチゾンの誘導体である。</p> <p>(次葉へ)</p> | <p>(前葉より)</p> <p>(C) 甲状腺ホルモン</p> <p>(1) 副甲状腺ホルモン : ポリペプチドであり、カルシウム調節作用がある。</p> <p>(2) カルシトニン (INN)、(TCA (チロカルシトニン)) : 低カルシウム及び低リん酸塩血症用のポリペプチド</p> <p>(D) すい臓ホルモン</p> <p>(1) インスリン : インスリンは、多くの動物のすい臓のランゲルハンス島に存在するポリペプチドであり、すい臓からの抽出又は合成 (バイオテクノロジーによるものを含む。例えば、グルコースシロップ又は砂糖の発酵) によつて製造される。白色で非吸湿性の無定形粉末又は光沢のある結晶で水に可溶である。低血糖因子として糖尿病の治療に使用する。</p> <p>(2) グルカゴン (INN) (HGF (高血糖 - グリコゲン分解因子)) : ポリペプチドで血液中のグルコースの濃度を増加させる性質がある。 () ステロイドで主としてホルモン作用を使用するもの これらには、次に掲げる種類の天然ホルモンを含む。</p> <p>(A) 副腎皮質ホルモン : 副腎中皮質に存在する。</p> <p>(B) エストロゲン : 卵巣、精巣、副腎、胎盤その他のステロイド生成組織が生成する女性ホルモンである。</p> <p>(C) プロゲステロン (INN) : 排卵後の黄体 (雌性生殖腺) 中に、また、副腎、胎盤及び精巣中にも存在する。</p> <p>(D) アントロゲン : 雌性的性ホルモンで、精巣、血液及び尿中に存在する。 ほとんどすべての副腎コルチコステロイドは、ナトリウム及び水分を体中に保持させ、カリウムの排せつを促進する作用がある。この作用は腎臓疾患及びアジソン氏病の治療に利用される。ある種のコルチコステロイド (例えば、ヒドロコルチゾン) は、糖質コルチコイドとして分類され、体内でたんぱく質及び炭水化物の代謝作用の調節を行い、また、間充組織 (mesenchyme) の作用を抑制することにより局部的な抗炎症効果も示す。ある種の誘導体は、実際上、皮質ホルモン効果をおさえるように化学的に変性されており、その抗炎症効果がもっぱら利用されるが、この効果のホルモン効果の一つであると認められるので、この項に属する。他のものは、デソキシコルトンのようにかなり強いナトリウム保持作用及びカリウム排せつ作用をもつて、無機質コルチコイド (mineralocorticoids) と呼ばれる。</p> <p>(次葉へ)</p> | |

| | 新 | 旧 | 備 考 |
|-------|---|--|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>(d) プレドニゾロン (INN) (デヒロヒドロコルチゾン) : グルココルチコイドで、ヒドロコルチゾンの誘導体である。</p> <p>(e) アルドステロン (INN) : 鉱質コルチコイド</p> <p>(f) コルトドキソーン (cortodoxone) : 誘導体には、その抗炎症効果を利用するため、その皮質ホルモン効果を抑制するような修飾がされているものがあるが、これもホルモン効果を有しているとみなされる。これらは主に、コルチゾン、ヒドロコルチゾン、プレドニゾン及びプレドニゾロンの誘導体であり、抗炎症剤及び抗リュウマチ剤として使用される。</p> <p>(2) コルチコステロイドホルモンのハロゲン化誘導体 : 通常、ゴナン構造の6位又は9位の水素原子が、塩素又はフッ素原子で置換されたステロイド (例えば、デキサメタゾン (INN)) であり、母体化合物よりもグルココルチコイド作用及び抗炎症作用が強い。これらの誘導体は、エステル、アセトニド (例えば、フルオシノロンアセトニド (INN)) の形へさらに修飾され、流通することが多い。</p> <p>(3) エストロゲン及びプロゲストゲン : 性ホルモンの主要な2つのグループであり、男性及び女性の生殖器より分泌される。合成によつても得られ、プロゲスチン及びゲストーゲンと呼ばれることがある。 エストロゲン : 卵巣、精巣、副腎、胎盤及び他のステロイド生成組織で作られる女性ホルモンであり、雌の哺乳類において発情を起こす特徴がある。雌性の性徴の亢進に関与し、更年期障害の治療又は避妊薬の調製に用いられる。これらには、次に掲げるエストロゲン並びにその誘導体及び構造類似物を含む。</p> <p>(a) エストロン (INN) : 人の主要なエストロゲン</p> <p>(b) エストラジオール (INN) : 重要な天然のエストロゲン</p> <p>(c) エストリオール (INN) : 天然のエストロゲン</p> <p>(d) エチルエストラジオール (INN) : 重要な合成のエストロゲンで、経口投与でも効果があり、経口避妊薬に主たるエストロゲン成分として使用される。</p> <p>(e) メストラノール (INN) : エチルエストラジオールのエーテル誘導体で、経口避妊薬として使用される。</p> <p>(次葉へ)</p> | <p>(前葉より)</p> <p>エストロゲンは雌性の性徴の発育をつかさどるが、エストロゲンの主な用途は更年期障害の治療及び避妊薬の調製である。</p> <p>プロゲステロンは、妊娠のための子宮の準備及び妊娠の維持のために重要である。また、排卵抑制作用があるため、多くのプロゲステロン剤が避妊薬の成分として使用されている。</p> <p>アンドロゲンは雄性の性徴の発育をつかさどる。ある種のアンドロゲンは代謝作用 (すなわち同化作用) に影響を与える。</p> <p>これらの天然に由来するホルモンは、現在合成により得られている。さらに、天然にはまだ見出されていない多くの新しいステロイドが合成され、医薬品として使用されている。しかしながら、化学的にかなり類似していても、化合物の化学構造が若干変化するだけで生理的効果が変化し、しばしば異なる生理機能系に作用するような物質になる場合が多い。このような生体内にその対応物のない合成品の例として、雄性発生作用を減少するが同化作用を高めたもの (この作用のために、これらは同化剤 (anabolic agents) と呼ばれる) (例えば、oxymetholone) がある。</p> <p>主としてそのホルモン作用を利用するステロイドは、ゴナン構造が変性していない場合に限りすべてこの項に含む。</p> | |

| | 新 | 旧 | 備 考 |
|-------|--|---------------|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>プロゲストゲン：プロゲステロン様作用を有するステロイドのグループであり、妊娠の開始及び維持に必要である。これらの女性ホルモンは、妊娠に対して子宮を整え、妊娠を維持する。その排卵抑制作用から、多くのプロゲスチンが避妊薬の成分として使用される。ここには、次の物品を含む。</p> <p>(a) プロゲステロン (INN)：人の主要なプロゲスチンであり、エストロゲン、アンドロゲン及びコルチコステロイドの生合成過程における中間体である。排卵後の黄体で生成され、副腎、胎盤及び精巣中にも存在する。</p> <p>(b) プレグナンジオール：天然のプロゲスチンで、プロゲステロンより生理活性はかなり弱い。</p> <p>(4) その他のステロイドホルモン</p> <p>アンドロゲン：上述の物品に含まれない性ホルモンのうち重要なグループであり、主として精巣で生成されるが、卵巣、副腎及び胎盤においても若干生成される。雄性の性徴を亢進し、代謝に関与する（たんぱく質同化作用）。テストステロン (INN) は最も重要なアンドロゲンの一つである。</p> <p>ここには、合成のステロイドで、ホルモン効果の阻害又は反作用に用いられるものを含む（例えば、抗エストロゲン、抗アンドロゲン及び抗プロゲストゲン（抗プロゲスチン、抗エスタゲン））。ステロイドの抗プロゲスチンはプロゲスチン拮抗剤であり、疾病の治療に多く用いられている。このグループには、例えば、オナブリストン (INN) 及びアグレプリストン (INN) を含む。</p> <p>(次葉へ)</p> | <p>(前葉より)</p> | |

| | 新 | 旧 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----------|----------|---|----------|---|----------------|---|-------------|---|-----------------------|--|----------|---|-----------------------|---|-----------------------|--|-----------|----------|---|----------|---|----------------|---|-------------|---|----------|--|----------|---|----------|---|----------|--|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>これらのステロイドのうち、国際貿易上重要なものは次表のとおりである。その物品の略名をアルファベット順に掲げ、その主なホルモン作用を付記した。複数の品名がある場合には、世界保健機関（WHO）の公表したInternational Nonproprietary Names for pharmaceutical preparations (INN) 又は International Nonproprietary Names (Modified) (INNM)により、化学名は、IUPAC 1957のステロイドの命名法によつている。</p> <p>主としてホルモンとして使用されるステロイドの一覧表</p> <table> <thead> <tr> <th>略名 化学名</th> <th>主なホルモン作用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Adrenosterone androst-4-ene-3,11,17-trione</td> <td>Androgen</td> </tr> <tr> <td>Aldosterone (INN) 11,21-dihydroxy-3,20-dioxopregn-4-en-18-al</td> <td>Corticosteroid</td> </tr> <tr> <td>Allylestrenol (INN) 17-allyloestr-4-en-17-ol</td> <td>Progestogen</td> </tr> <tr> <td>(No short name) 5-androstan-3,17-dione</td> <td>Androgen intermediate</td> </tr> <tr> <td>Androstanolone (INN) 17-hydroxy-5-androstan-3-one</td> <td>Androgen</td> </tr> <tr> <td>Androstanediols androst-5-ene-3,17-diol androst-5-ene-3,17-diol</td> <td>Anabolic intermediate</td> </tr> <tr> <td>(No short name) androst-4-ene-3,17-dione</td> <td>Androgen intermediate</td> </tr> </tbody> </table> <p>(次葉へ)</p> | 略名 化学名 | 主なホルモン作用 | Adrenosterone androst-4-ene-3,11,17-trione | Androgen | Aldosterone (INN) 11,21-dihydroxy-3,20-dioxopregn-4-en-18-al | Corticosteroid | Allylestrenol (INN) 17-allyloestr-4-en-17-ol | Progestogen | (No short name) 5-androstan-3,17-dione | Androgen intermediate | Androstanolone (INN) 17-hydroxy-5-androstan-3-one | Androgen | Androstanediols androst-5-ene-3,17-diol androst-5-ene-3,17-diol | Anabolic intermediate | (No short name) androst-4-ene-3,17-dione | Androgen intermediate | <p>(前葉より)</p> <p>これらのステロイドのうち、国際貿易上重要なものは次表のとおりである。本表は、その物品の略名をアルファベット順に掲げ、そのおもなホルモン作用を示した。複数の品名がある場合には、世界保健機関（WHO）の公表した International Nonproprietary Names for pharmaceutical preparations (INN) 又は International Nonproprietary Names (Modified) (INNM)により、化学名は、IUPAC 1957のステロイドの命名法によつてている。</p> <p>主としてホルモンとして使用されるステロイドの一覧表</p> <table> <thead> <tr> <th>略名 化学名</th> <th>主なホルモン作用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Adrenosterone androst-4-ene-3,11,17-trione</td> <td>Androgen</td> </tr> <tr> <td>Aldosterone (INN) 11,21-dihydroxy-3,20-dioxopregn-4-en-18-al</td> <td>Corticosteroid</td> </tr> <tr> <td>Allylestrenol (INN) 17-allyloestr-4-en-17-ol</td> <td>Progestogen</td> </tr> <tr> <td>(No short name) 5-androstan-3,17-dione</td> <td>Androgen</td> </tr> <tr> <td>Androstanolone (INN) 17-hydroxy-5-androstan-3-one</td> <td>Androgen</td> </tr> <tr> <td>Androstanediols androst-5-ene-3,17-diol androst-5-ene-3,17-diol</td> <td>Anabolic</td> </tr> <tr> <td>(No short name) androst-4-ene-3,17-dione</td> <td>Androgen</td> </tr> </tbody> </table> <p>(次葉へ)</p> | 略名 化学名 | 主なホルモン作用 | Adrenosterone androst-4-ene-3,11,17-trione | Androgen | Aldosterone (INN) 11,21-dihydroxy-3,20-dioxopregn-4-en-18-al | Corticosteroid | Allylestrenol (INN) 17-allyloestr-4-en-17-ol | Progestogen | (No short name) 5-androstan-3,17-dione | Androgen | Androstanolone (INN) 17-hydroxy-5-androstan-3-one | Androgen | Androstanediols androst-5-ene-3,17-diol androst-5-ene-3,17-diol | Anabolic | (No short name) androst-4-ene-3,17-dione | Androgen | |
| 略名 化学名 | 主なホルモン作用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Adrenosterone androst-4-ene-3,11,17-trione | Androgen | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Aldosterone (INN) 11,21-dihydroxy-3,20-dioxopregn-4-en-18-al | Corticosteroid | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Allylestrenol (INN) 17-allyloestr-4-en-17-ol | Progestogen | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (No short name) 5-androstan-3,17-dione | Androgen intermediate | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Androstanolone (INN) 17-hydroxy-5-androstan-3-one | Androgen | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Androstanediols androst-5-ene-3,17-diol androst-5-ene-3,17-diol | Anabolic intermediate | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (No short name) androst-4-ene-3,17-dione | Androgen intermediate | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 略名 化学名 | 主なホルモン作用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Adrenosterone androst-4-ene-3,11,17-trione | Androgen | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Aldosterone (INN) 11,21-dihydroxy-3,20-dioxopregn-4-en-18-al | Corticosteroid | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Allylestrenol (INN) 17-allyloestr-4-en-17-ol | Progestogen | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (No short name) 5-androstan-3,17-dione | Androgen | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Androstanolone (INN) 17-hydroxy-5-androstan-3-one | Androgen | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Androstanediols androst-5-ene-3,17-diol androst-5-ene-3,17-diol | Anabolic | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (No short name) androst-4-ene-3,17-dione | Androgen | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | 新 | | 旧 | | 備 考 |
|-------|--|--|---|--|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>Androsterone 3 -hydroxy-5 -androstan-17-one</p> <p>Betamethasone (INN) 9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 - methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Bolasterone (INN) 17 -hydroxy-7 ,17 -dimethylandrost-4-en-3-one</p> <p>Chlormadinone (INN) 6-chloro-17 -hydroxypregna-4,6-diene-3,20-dione</p> <p>Chloroprednisone (INN) 6 -chloro-17 ,21-dihydroxypregna-1,4-diene- 3,11,20-trione</p> <p>Clocortolone (INN) 9 -chloro-6 -fluoro-11 ,21-dihydroxy-16 - methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Clostebol (INN) 4-chloro-17 -hydroxyandrost-4-en-3-one</p> <p>Corticosterone 11 ,21-dihydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Cortisol - see Hydrocortisone</p> <p>Cortisone (INN) 17 ,21-dihydroxypregn-4-ene-3,11,20-trione</p> <p>11-Dehydrocorticosterone 21-hydroxypregn-4-ene-3,11,20-trione (次葉へ)</p> | <p>Androgen</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Anabolic</p> <p>Progesterogen</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Anabolic</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> | <p>(前葉より)</p> <p>Androsterone 3 -hydroxy-5 -androstan-17-one</p> <p>Betamethasone (INN) 9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 - methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Bolasterone (INN) 17 -hydroxy-7 ,17 -dimethylandrost-4-en-3-one</p> <p>Chlormadinone (INN) 6-chloro-17 -hydroxypregna-4,6-diene-3,20-dione</p> <p>Chloroprednisone (INN) 6 -chloro-17 ,21-dihydroxypregna-1,4- diene-3,11,20-trione</p> <p>Clocortolone (INN) 9 -chloro-6 -fluoro-11 ,21-dihydroxy-16 - methylpregna-1,4- diene-3,20-dione</p> <p>Clostebol (INN) 4-chloro-17 -hydroxyandrost-4-en-3-one</p> <p>Corticosterone 11 ,21-dihydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Cortisol - see Hydrocortisone</p> <p>Cortisone (INN) 17 ,21-dihydroxypregn-4-ene-3,11,20-trione</p> <p>11-Dehydrocorticosterone 21-hydroxypregn-4-ene-3,11,20-trione (次葉へ)</p> | <p>Androgen</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Anabolic</p> <p>Progesterogen</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Anabolic</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> | |

| | 新 | | 旧 | | 備 考 |
|-------|--|-------|---|--|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より) Deoxycorticosterone - see Desoxycortone</p> <p>Desoxycortone (INN) 21-hydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Dexamethasone (INN) 9-fluoro-11,17,21-trihydroxy-16-methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Dihydroandrosterone 5-androstan-3,17-diol</p> <p>Androgen intermediate</p> <p>Dydrogesterone (INN) 9,10-pregna-4,6-diene-3,20-dione</p> <p>Progesterogen</p> <p>Equilenin 3-hydroxyoestra-1,3,5(10),6,8-pentaen-17-one</p> <p>Oestrogen</p> <p>Equilin 3-hydroxyoestra-1,3,5(10),7-tetraen-17-one</p> <p>Oestrogen</p> <p>Estradiol (INN) oestra-1,3,5(10)-triene-3,17-diol</p> <p>Oestrogen</p> <p>Estriol (INNM) oestra-1,3,5(10)-triene-3,16,17-triol</p> <p>Oestrogen</p> <p>Estrone (INN) 3-hydroxyoestra-1,3,5(10)-trien-17-one</p> <p>Oestrogen</p> <p>Ethinylestradiol (INN) 17-ethynloestra-1,3,5(10)-triene-3,17-diol (次葉へ)</p> <p>Oestrogen</p> | 29.37 | <p>(前葉より) Deoxycorticosterone - see Desoxycortone</p> <p>Desoxycortone (INN) 21-hydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Dexamethasone (INN) 9-fluoro-11,17,21-trihydroxy-16-methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Dihydroandrosterone 5-androstan-3,17-diol</p> <p>Androgen</p> <p>Dydrogesterone (INN) 9,10-pregna-4,6-diene-3,20-dione</p> <p>Progesterogen</p> <p>Equilenin 3-hydroxyoestra-1,3,5(10),6,8-pentaen-17-one</p> <p>Oestrogen</p> <p>Equilin 3-hydroxyoestra-1,3,5(10),7-tetraen-17-one</p> <p>Oestrogen</p> <p>Estradiol (INN) oestra-1,3,5(10)-triene-3,17-diol</p> <p>Oestrogen</p> <p>Estriol (INNM) oestra-1,3,5(10)-triene-3,16,17-triol</p> <p>Oestrogen</p> <p>Estrone (INN) 3-hydroxyoestra-1,3,5(10)-trien-17-one</p> <p>Oestrogen</p> <p>Ethinylestradiol (INN) 17-ethynloestra-1,3,5(10)-triene-3,17-diol (次葉へ)</p> <p>Oestrogen</p> | | |

| | 新 | | 旧 | 備 考 |
|-------|---|-------|---|-----|
| 29.37 | <p>(次葉へ)</p> <p>Ethisterone (INN) 17 -ethynyl-17 -hydroxyandrost-4-en-3-one</p> <p>Ethylestrenol (INN) 17 -ethyloestr-4-en-17 -ol</p> <p>Etynodiol (INN) 17 -ethynyoestr-4-ene-3 ,17 -diol</p> <p>Fludrocortisone (INN) 9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Flumetasone (INN) 6 ,9 -difluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene- 3,20-dione</p> <p>Fluocinolone (INNM) 6 ,9 -difluoro-11 ,16 ,17 ,21-tetrahydroxy-pregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Fluocortolone (INN) 6 -fluoro-11 ,21-dihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Fluorometholone (INN) 9 -fluoro-11 ,17 -dihydroxy-6 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>9 -Fluoroprednisolone 9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>(次葉へ)</p> | 29.37 | <p>(次葉へ)</p> <p>Ethisterone (INN) 17 -ethynyl-17 -hydroxyandrost-4-en-3-one</p> <p>Ethylestrenol (INN) 17 -ethyloestr-4-en-17 -ol</p> <p>Etynodiol (INN) 17 -ethynyoestr-4-ene-3 ,17 -diol</p> <p>Fludrocortisone (INN) 9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Flumetasone (INN) 6 ,9 -difluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene- 3,20-dione</p> <p>Fluocinolone (INNM) 6 ,9 -difluoro-11 ,16 ,17 ,21-tetrahydroxy-pregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Fluocortolone (INN) 6 -fluoro-11 ,21-dihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Fluorometholone (INN) 9 -fluoro-11 ,17 -dihydroxy-6 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>9 -Fluoroprednisolone 9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>(次葉へ)</p> | |

| | 新 | | 旧 | 備 考 | |
|-------|--|----------|--|----------|--|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>Fluoxymesterone (INN) 9-fluoro-11,17-dihydroxy-17-methylandrost-4-en-3-one</p> <p>Fluprednidene (INN) 9-fluoro-11,17,21-trihydroxy-16-methylenepregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Fluprednisolone (INN) 6-fluoro-11,17,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Flurandrenolone 6-fluoro-11,16,17,21-tetrahydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Formocortal (INN) 3-(2-chloroethoxy)-9-fluoro-6-formyl-11,21-dihydroxy-16,17-isopropylidenedioxypregna-3,5-dien-20-one 21-acetate</p> <p>Gestonorone (INNM) 17-ethyl-17-hydroxyoestr-4-ene-3,20-dione</p> <p>Hydrocortisone (INN) 11,17,21-trihydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Hydroxyprogesterone (INN) 17-hydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Lynestrenol (INN) 17-ethynloestr-4-en-17-ol</p> <p>(次葉へ)</p> | Androgen | <p>(前葉より)</p> <p>Fluoxymesterone (INN) 9-fluoro-11,17-dihydroxy-17-methylandrost-4-en-3-one</p> <p>Fluprednidene (INN) 9-fluoro-11,17,21-trihydroxy-16-methylenepregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Fluprednisolone (INN) 6-fluoro-11,17,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Flurandrenolone 6-fluoro-11,16,17,21-tetrahydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Formocortal (INN) 3-(2-chloroethoxy)-9-fluoro-6-formyl-11,21-dihydroxy-16,17-isopropylidenedioxypregna-3,5-dien-20-one 21-acetate</p> <p>Gestonorone (INNM) 17-ethyl-17-hydroxyoestr-4-ene-3,20-dione</p> <p>Hydrocortisone (INN) 11,17,21-trihydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Hydroxyprogesterone (INN) 17-hydroxypregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Lynestrenol (INN) 17-ethynloestr-4-en-17-ol</p> <p>(次葉へ)</p> | Androgen | |

| | 新 | | 旧 | 備 考 |
|-------|---|--|---|--|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>Medroxyprogesterone (INN) 17-hydroxy-6-methylpregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Megestrol (INN) 17-hydroxy-6-methylpregna-4,6-diene-3,20-dione</p> <p>Mestanolone (INN) 17-hydroxy-17-methyl-5-androstan-3-one</p> <p>Mesterolone (INN) 17-hydroxy-1-methyl-5-androstan-3-one</p> <p>Mestranol (INN) 17-ethynyl-3-methoxyoestra-1,3,5(10)-trien-17-ol</p> <p>Metandienone (INN) 17-hydroxy-17-methylandrosta-1,4-dien-3-one</p> <p>Metenolone (INN) 17-hydroxy-1-methyl-5-androst-1-en-3-one</p> <p>Methandriol (INN) 17-methylandrost-5-ene-3,17-diol</p> <p>2-Methylhydrocortisone 11,17,21-trihydroxy-2-methylpregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>6-Methylhydrocortisone 11,17,21-trihydroxy-6-methylpregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>(次葉へ)</p> | <p>Progestogen</p> <p>Progestogen</p> <p>Anabolic</p> <p>Androgen</p> <p>Oestrogen</p> <p>Anabolic</p> <p>Anabolic</p> <p>Anabolic</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> | <p>(前葉より)</p> <p>Medroxyprogesterone (INN) 17-hydroxy-6-methylpregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Megestrol (INN) 17-hydroxy-6-methylpregna-4,6-diene-3,20-dione</p> <p>Mestanolone (INN) 17-hydroxy-17-methyl-5-androstan-3-one</p> <p>Mesterolone (INN) 17-hydroxy-1-methyl-5-androstan-3-one</p> <p>Mestranol (INN) 17-ethynyl-3-methoxyoestra-1,3,5(10)-trien-17-ol</p> <p>Metandienone (INN) 17-hydroxy-17-methylandrosta-1,4-dien-3-one</p> <p>Metenolone (INN) 17-hydroxy-1-methyl-5-androst-1-en-3-one</p> <p>Methandriol (INN) 17-methylandrost-5-ene-3,17-diol</p> <p>2-Methylhydrocortisone 11,17,21-trihydroxy-2-methylpregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>6-Methylhydrocortisone 11,17,21-trihydroxy-6-methylpregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>(次葉へ)</p> | <p>Progestogen</p> <p>Progestogen</p> <p>Anabolic</p> <p>Androgen</p> <p>Oestrogen</p> <p>Anabolic</p> <p>Anabolic</p> <p>Anabolic</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Corticosteroid</p> |

| | 新 | | 旧 | 備 考 |
|-------|--|---|--|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>Methylnortestosterone 17-hydroxy-17-methyloestr-4-en-3-one</p> <p>17-Methyloestradiol 17-methyloestra-1,3,5(10)-triene-3,17-diol</p> <p>Methylprednisolone (INN) 11,17,21-trihydroxy-6-methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Methyltestosterone (INN) 17-hydroxy-17-methylandrost-4-en-3-one</p> <p>Nandrolone (INN) 17-hydroxyoestr-4-en-3-one</p> <p>Norethandrolone (INN) 17-ethyl-17-hydroxyoestr-4-en-3-one</p> <p>Norethisterone (INN) 17-ethynyl-17-hydroxyoestr-4-en-3-one</p> <p>Noretynodrel (INN) 17-ethynyl-17-hydroxyoestr-5(10)-en-3-one</p> <p>Norgestrel (INN) 13-ethyl-17-ethynyl-17-hydroxygon-4-en-3-one</p> <p>Normethandrone - see Methylnortestosterone</p> <p>Nortestosterone - see Nandrolone</p> <p>(次葉へ)</p> | <p>Progestogen</p> <p>Oestrogen</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Androgen</p> <p>Anabolic</p> <p>Anabolic</p> <p>Progestogen</p> <p>Progestogen</p> <p>Progestogen</p> <p>Progestogen</p> <p>Progestogen</p> <p>Progestogen</p> | <p>(前葉より)</p> <p>Methylnortestosterone 17-hydroxy-17-methyloestr-4-en-3-one</p> <p>17-Methyloestradiol 17-methyloestra-1,3,5(10)-triene-3,17-diol</p> <p>Methylprednisolone (INN) 11,17,21-trihydroxy-6-methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Methyltestosterone (INN) 17-hydroxy-17-methylandrost-4-en-3-one</p> <p>Nandrolone (INN) 17-hydroxyoestr-4-en-3-one</p> <p>Norethandrolone (INN) 17-ethyl-17-hydroxyoestr-4-en-3-one</p> <p>Norethisterone (INN) 17-ethynyl-17-hydroxyoestr-4-en-3-one</p> <p>Noretynodrel (INN) 17-ethynyl-17-hydroxyoestr-5(10)-en-3-one</p> <p>Norgestrel (INN) 13-ethyl-17-ethynyl-17-hydroxygon-4-en-3-one</p> <p>Normethandrone - see Methylnortestosterone</p> <p>Nortestosterone - see Nandrolone</p> <p>(次葉へ)</p> | |

| | 新 | | 旧 | 備 考 |
|-------|--|-------|--|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>Oxabolone (INN) 4,17-dihydroxyoestr-4-en-3-one</p> <p>Anabolic</p> <p>Oxymesterone (INN) 4,17-dihydroxy-17-methylandrost-4-en-3-one</p> <p>Anabolic</p> <p>Oxymetholone (INN) 17-hydroxy-2-hydroxymethylene-17-methyl-5-androstan-3-one</p> <p>Anabolic</p> <p>Paramethasone (INN) 6-fluoro-11,17,21-trihydroxy-16-methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Prasterone (INN) 3-hydroxyandrost-5-en-17-one</p> <p>Androgen</p> <p>Prednisolone (INN) 11,17,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Prednisone (INN) 17,21-dihydroxypregna-1,4-diene-3,11,20-trione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Prednylidene (INN) 11,17,21-trihydroxy-16-methylenepregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Pregnenolone (INN) 3-hydroxypregn-5-en-20-one</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Progesterone (INN) pregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Progestogen</p> <p>(次葉へ)</p> | 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p>Oxabolone (INN) 4,17-dihydroxyoestr-4-en-3-one</p> <p>Anabolic</p> <p>Oxymesterone (INN) 4,17-dihydroxy-17-methylandrost-4-en-3-one</p> <p>Anabolic</p> <p>Oxymetholone (INN) 17-hydroxy-2-hydroxymethylene-17-methyl-5-androstan-3-one</p> <p>Anabolic</p> <p>Paramethasone (INN) 6-fluoro-11,17,21-trihydroxy-16-methylpregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Prasterone (INN) 3-hydroxyandrost-5-en-17-one</p> <p>Androgen</p> <p>Prednisolone (INN) 11,17,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Prednisone (INN) 17,21-dihydroxypregna-1,4-diene-3,11,20-trione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Prednylidene (INN) 11,17,21-trihydroxy-16-methylenepregna-1,4-diene-3,20-dione</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Pregnenolone (INN) 3-hydroxypregn-5-en-20-one</p> <p>Corticosteroid</p> <p>Progesterone (INN) pregn-4-ene-3,20-dione</p> <p>Progestogen</p> <p>(次葉へ)</p> | |

| | 新 | | 旧 | 備 考 |
|-------|---|-------|---|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より) Stanolone - see Androstanolone</p> <p>Testosterone (INN) 17-hydroxyandrost-4-en-3-one</p> <p>Tiomesterone (INN) 1,7-di(acetylthio)-17-hydroxy-17-methylandrost-4-en-3-one</p> <p>Triamcinolone (INN) 9-fluoro-11,16,17,21-tetrahydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione (次葉へ)</p> | 29.37 | <p>(前葉より) Stanolone - see Androstanolone</p> <p>Testosterone (INN) 17-hydroxyandrost-4-en-3-one</p> <p>Tiomesterone (INN) 1,7-di(acetylthio)-17-hydroxy-17-methylandrost-4-en-3-one</p> <p>Triamcinolone (INN) 9-fluoro-11,16,17,21-tetrahydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione (次葉へ)</p> | |

| 新 | 旧 | 備考 |
|--|---|----|
| <p>(前葉より)</p> <p>29.37 (C) カテコールアミンホルモン並びにその誘導体及び構造類似物 このグループには、副腎髓質に存在するホルモンを含む。</p> <p>(1) エピネフリン (INN) (アドレナリン、(-)-3,4-ジヒドロキシ-アルファ-[メチルアミノ]メチル]ベンジルアルコール) 及びラセビネフリン (INN) ((±)-3,4-ジヒドロキシ-アルファ-[メチルアミノ]メチル]ベンジルアルコール) : 両者の構造は、化学名1-(3,4-ジヒドロキシフェニル)-2-メチルアミノエタノールに相当する。エピネフリンは、淡かつ色又はほとんど白色の結晶で、光の影響を受けやすく、水又は有機溶媒にわずかに溶ける。馬の副腎から得ることもできるが、ほとんど合成によつて得られる。血圧上昇ホルモンの一種であり、交感神経系を刺激し、血球数及び血糖値を上昇させ、強い血管収縮作用を有する。</p> <p>(2) ノルエピネフリン (INN) (レバリテレノール、ノルアドレナリン、(-)-2-アミノ-1-(3,4-ジヒドロキシフェニル)エタノール) : 白色結晶で、水に可溶であり、その生理活性は、アドレナリンとエフェドリンの作用の中間的である。</p> <p>(D) アミノ酸の誘導体</p> <p>(1) レボチロキシン (INNM) 及びDL-チロキシン (3-[4-(4-ヒドロキシ-3,5-ジヨードフェノキシ)-3,5-ジヨードフェニル]アラニン、3,5,3',5'-テトラヨードチロニン) : チロキシンは甲状腺からの抽出又は合成によつて得られる。芳香族アミノ酸の一種であり、白色又は黄色の結晶で、水及び通常の溶媒に不溶である。基礎代謝率及び酸素消費量を増加し、交感神経系に作用し、たんぱく質及び脂肪の作用を制御し、生体のよう素欠乏を補う。甲状腺腫及びクレチン症の治療に使用する。L体の異性体が活性である。ナトリウム塩は、白色結晶で、水にわずかに溶け、同様の作用をする。</p> <p>(2) リオチロニン (INN) 及びラチロニン (INN) (DL-3,5,3'-トリヨードチロニン) (3-[4-(4-ヒドロキシ-3-ヨードフェノキシ)-3,5-ジヨードフェニル]アラニン) : トリヨードチロニンは、甲状腺から抽出され、その生理活性はチロキシンよりも強い。</p> <p>(次葉へ)</p> | <p>(前葉より)</p> <p>29.37</p> <p>(次葉へ)</p> | |

| | 新 | 旧 | 備 考 |
|-------|--|----------------------------|-----|
| 29.37 | <p>(前葉より)</p> <p><u>(E) プロスタグラジン、トロンボキサン及びロイコトリエン</u> <u>並びにこれらの誘導体及び構造類似物</u> <u>これらの物質はアラキドン酸の誘導体である。</u></p> <p>(1) プロスタグラジン アラキドン酸の誘導体のうち最も重要なもので、少量でホルモン様の働きをする内因性物質であり、プロスタン酸の基本構造を有する。血流、腎機能及び内分泌の調節に関与し（例えば、黄体のプロゲステロン生成を減少させることによる。）、平滑筋の収縮及び血管の拡張を刺激し、血小板の凝集を抑制し、胃液分泌を調節する。ここには、次のプロスタグラジン並びにその誘導体及び構造類似物を含む。</p> <p>(a) アルプロスタジル (INN) (プロスタグラジン E₁) : 生物的抽出物から結晶化された主要なプロスタグラジンである。血管拡張剤として用いられ、腎皮質からのエリスロポエチンの放出を促し、血小板の凝集を阻害する。</p> <p>(b) アルファプロストール (INN) : 合成によつて得られたプロスタグラジンの構造類似物で、雌馬の不妊治療に使用される。</p> <p>(c) チルスプロスト (INN) : プロスタグラジンの構造類似物で、酸素原子及び炭素原子1つが、窒素原子及び硫黄原子で置換され、環が閉じている。 このグループには、プロスタレン (INN)、ジノプロスト (INN) 等のようなその他の合成によつて得られたものを含む。これらは、天然の物質の基本的構造を有し、同様の生理活性を有する。</p> <p>(2) トロンボキサン及びロイコトリエン プロスタグラジンと同様に、細胞中でアラキドン酸より合成される。その機能はプロスタグラジンに匹敵し、構造も近似であるが、プロスタン酸の基本構造は有していない。トロンボキサンは、プロスタグラジンから合成され、血小板の凝集及び動脈収縮を起こし、ポリ不飽和脂肪酸の活性の重要な調節剤である。ロイコトリエンは、白血球（ロイコサイト）を起源とし、トリエンの形に縮合していることから名づけられた。これは、強力な気管支収縮剤であり、過敏症反応において重要な役割を果たす。</p> <p>(a) トロンボキサン B₂ : 血管収縮剤、気管支収縮剤及び血小板凝集誘発剤である。</p> <p>(b) ロイコトリエン C₄ : 肺の気道における効果は、ヒスタミン又はプロスタグラジンの百倍から千倍の強さである。</p> | <p>(前葉より)</p> <p>29.37</p> | |

(次葉へ)

(次葉へ)

| 新 | 旧 | 備考 |
|---|---|----|
| <p>29.37 (前葉より) (F) その他のホルモン ここに属するものは、上述のホルモンとは異なる構造を持つホルモンである。例えば、松果体に存在するメラトニンは、インドールの誘導体とみなされる。 除外 この項には、次の物品を含まない。</p> <p>(1) ホルモンに類似した構造を有するが、ホルモン作用を有しない物品</p> <p>(a) アンドロスト - 5 - エン - 3 アルファ , 17アルファ - ジオール、アンドロスト - 5 - エン - 3 アルファ , 17ベータ - ジオール (29.06) 及びそれらの酢酸ジエステル (29.15)</p> <p>(b) アドレナロン (INN) (3', 4' - ジヒドロキシ - 2 - メチルアミノアセトフェノン) (29.22)</p> <p>(c) 29.22 項に属する次の物品</p> <p>() 2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) ブタン - 1 - オール</p> <p>() コルバドリン (INN) (2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) プロパン - 1 - オール、3, 4 - ジヒドロキシノルエフェドリン、ホモアルテレノール)</p> <p>() デオキシエピネフリン (デオキシアドレナリン、1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノエタン、エピニン)</p> <p>() 3', 4' - ジヒドロキシ - 2 - エチルアミノアセトフェノン (4 - エチルアミノアセチルカテコール)</p> <p>() 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノプロパン - 1 - オール (3, 4 - ジヒドロキシエフェドリン)</p> <p>() (±) - N - メチルエピネフリン ((±) - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノエタノール、メタドレン、(±) - N - メチルアドレナリン)</p> <p>(2) ホルモン様作用を有するが、ホルモン類似構造を有しない物品</p> <p>(a) ジエヌストロール (INN) (3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) ヘキサ - 2, 4 - ジエン) (29.07)</p> <p>(b) ヘキセストロール (INN) (3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) ヘキサン) (29.07)</p> <p>(c) ジエチルスチルペストロール (INN) (トランス - 3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) - ヘキセ - 3 - エン) (29.07) 並びにそのジメチルエーテル (29.09)、ジプロピオン酸エステル (29.15) 及びフラン酸エステル (29.32)</p> <p>(d) 29.22 項に属する次の物品</p> <p>() 2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) ブタン - 1 - オール</p> <p>() コルバドリン (INN) (2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - プロパン - 1 - オール、3, 4 - ジヒドロキシノルエフェドリン、ホモアルテレノール)</p> <p>() デオキシエピネフリン (デオキシアドレナリン、1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノエタン、エピニン)</p> <p>() 3', 4' - ジヒドロキシ - 2 - エチルアミノアセトフェノン (4 - エチルアミノアセチルカテコール)</p> <p>() 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノプロパン - 1 - オール (3, 4 - ジヒドロキシエフェドリニドリン)</p> | <p>29.37 (前葉より) 除外 この項には、次の物品を含まない。</p> <p>(1) ホルモン中間体</p> <p>(a) アンドロスト - 5 - エン - 3 アルファ - 17アルファ - ジオール、アンドロスト - 5 - エン - 3 アルファ - 17ベータ - ジオール (29.06) 及びそれらの酢酸エステル (29.15)</p> <p>(b) コルトドクソン (INN) (17アルファ、21 - ジヒドロキシプレゲン - 4 - エン - 320 - ジオン、Reichstein's substances) (29.14) 及びその酢酸のエステル (29.15)</p> <p>(c) アドレナロン (INN) (3', 4' - ジヒドロキシ - 2 - メチルアミノアセトフェノン) (29.22)</p> <p>(2) 合成非ステロイド系ホルモン代用物</p> <p>(a) ジエヌストロール (INN) (3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) ヘキサ - 2, 4 - ジエン) (29.07)</p> <p>(b) ヘキセストロール (INN) (3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) ヘキサン) (29.07)</p> <p>(c) ジエチルスチルペストロール (INN) (トランス - 3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) - ヘキセ - 3 - エン) (29.07) 並びにそのジメチルエーテル (29.09)、ジプロピオン酸エステル (29.15) 及びフラン酸エステル (29.32)</p> <p>(d) 29.22 項に属する次の物品</p> <p>() 2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) ブタン - 1 - オール</p> <p>() コルバドリン (INN) (2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - プロパン - 1 - オール、3, 4 - ジヒドロキシノルエフェドリン、ホモアルテレノール)</p> <p>() デオキシエピネフリン (デオキシアドレナリン、1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノエタン、エピニン)</p> <p>() 3', 4' - ジヒドロキシ - 2 - エチルアミノアセトフェノン (4 - エチルアミノアセチルカテコール)</p> <p>() 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノプロパン - 1 - オール (3, 4 - ジヒドロキシエフェドリニドリン)</p> | |

| 新 | 旧 | 備 考 |
|--|--|-----|
| <p>(前葉より)</p> <p>29.37 (d) クロミフェン(INN) (抗エストロゲン) (29.22) (e) タモキシフェン(INN) (抗エストロゲン) (29.22) (f) フルタミド(INN) (抗アンドロゲン) (29.24)</p> <p>(3) ホルモン様作用を有する天然の物質であるが、人又は動物の身体で分泌されるものでないもの</p> <p>(a) ジーラレノン：たんぱく質同化剤 (29.32) (b) アスペルリシン：コレシストキニンの拮抗剤 (29.33)</p> <p>(4) ホルモンとみなされる場合もあるが、真のホルモン活性を有しない物品</p> <p>(a) シスチン、システイン(INN)及びこれらの塩酸塩 (29.30) (b) メチオニン及びそのカルシウム塩 (29.30) (c) セロトニン (5 - ヒドロキシトリプタミン)、5 - ヒドロキシ - 3 - (ベータ - アミノエチル) インドール (29.33) (d) ヘパリン (30.01) (e) 変性免疫産品 (30.02)</p> <p>(5) 植物生長調整剤(天然のもの及び合成のもの。例えば、植物ホルモン)</p> <p>(A) 混合されておらず、かつ、小売用でない場合には、その化学組成により所属を決定する。</p> <p>(a) アルファ - ナフチル酢酸及びそのナトリウム塩 (29.16) (b) 2 , 4 - ジクロロフェノキシ酢酸 (2 , 4 - D)、2 , 4 , 5 - トリクロロフェノキシ酢酸 (2 , 4 , 5 - T) 及び4 - クロロ - 2 - メチルフェノキシ酢酸 (M C P A) (29.18) (c) ベータ - インドリル酢酸及びそのナトリウム塩 (29.33)</p> <p>(B) 小売用の形状若しくは包装にしたもの又は調製したもの若しくは製品にしたもの (38.08)</p> <p>(6) 30.03 項又は30.04 項の医薬品：特に、「徐放性インスリン」(インスリン亜鉛、インスリンカリウム亜鉛、インスリングロビン、インスリン亜鉛グロビン、インスリンヒストン)</p> | <p>(前葉より)</p> <p>29.37 () (±) - N - メチルエピネフィリン ((±) - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - ジメチルアミノエタノール、メタドレン、(±) - N - メチルアドレナリン)</p> <p>(3) しばしばホルモンとみなされることもあるが、真のホルモン活性を有しない物品</p> <p>(a) シスチン、システイン及びこれらの塩酸基 (29.30) (b) メチオニン及びそのカルシウム塩 (29.30) (c) セロトニン (5 - ヒドロキシトリプタミン) (29.33) (d) ヘパリン (30.01)</p> <p>(4) 植物生長調整剤(天然のもの及び合成のもの。例えば、植物ホルモン)</p> <p>(A) 混合されておらず、かつ、小売用でない場合には、その化学組成により所属を決定する。</p> <p>(a) アルファ - ナフチル酢酸及びそのナトリウム塩 (29.16) (b) 2 , 4 - ジクロロフェノキシ酢酸 (2 , 4 - D)、2 , 4 , 5 - トリクロロフェノキシ酢酸 (2 , 4 , 5 - T) 及び4 - クロロ - 2 - メチルフェノキシ酢酸 (M C P A) (29.18) (c) ベータ - インドリル酢酸及びそのナトリウム塩 (29.33)</p> <p>(B) 小売用の形状若しくは包装にしたもの又は調製したもの並びに製品にしたもの (38.08)</p> <p>(5) 30.03 項又は30.04 項の医薬品：特に、「徐放性インスリン」(インスリン亜鉛、インスリンカリウム亜鉛、インスリングロビン、インスリン亜鉛グロビン、インスリンヒストン)</p> | |